

「第6回 土木設計関係技術発表会」 発表概要書

発表内容	事例名（業務名）	平成29・30年度岡山南部地区橋梁点検業務
	業務発注者名	中国地方整備局 岡山国道事務所
発表者	所属協会名	岡山県測量設計業協会
	所属会社	(株) エイト日本技術開発
	発表者名	瀬良 敬彦

発表事例の概要

＜図表も含め1000字(40字×25行) 程度以内＞

1. 業務の内容、技術的特長

本業務は、岡山国道事務所岡南維持出張所管内の橋梁について、橋梁点検を2ヵ年で行ったものである。併せて、橋梁に付帯する附属物の点検や、橋梁に生じた損傷に対する詳細調査を実施した。

	平成29年度	平成30年度
定期点検（橋梁）	2橋	51橋
〃（横断歩道橋）	6橋	—
〃（溝橋）	4橋	—
第三者被害予防措置（橋梁）	—	24橋
〃（溝橋）	—	12橋
附属物点検	9橋	41橋
情報ボックス点検	—	12橋
詳細調査（超音波探傷試験）	—	5橋
〃（磁粉探傷試験）	1橋	8橋

本業務では、点検計画以上のような課題があった。

- 1) 国道2号岡山バイパスや交通量の多い市道と交差する橋梁、国道の横断歩道橋などが含まれており、夜間交通規制時の交通事故防止対策や第三者被害防止などの安全対策が重要。
- 2) 規模の大きい橋梁が多く、適切な点検体制と工程計画・工程管理が重要。
- 3) 道路の他、河川や鉄道と交差する橋梁や路面電車、バス停に近接する橋梁、改良・補修工事を行っている橋梁が含まれることから、各関係機関との調整が重要。
- 4) 重交通路線の橋梁が多いことから、鋼橋の亀裂やPC桁のひびわれなどの重要損傷が確認されており、適切な評価を行うための進行性の確認や追加詳細調査の実施判断が重要。

2. 表彰に至る評価の要因

上記の課題に対し、以下の取り組みを行ったことや、新技術による点検を試行して今後の活用範囲や、効果的な利用に向けた改良点などを整理したことが評価されたと考える。

- 取組1) 安全管理の周知と予防安全活動の実施により、無事故・無災害で点検を終了した。
- 取組2) 複数班体制や関係機関との円滑・迅速な調整により現場工期の短縮を図った。
- 取組3) チェック体制の強化や詳細調査・追跡調査の実施により点検精度の向上を図った。
- 取組4) 維持工事との協同や点検費用の削減により、維持管理の効率化を図った。

3. 業務遂行上、苦勞した点や工夫した点

橋梁点検作業には、多くの関係機関や交通誘導員、特殊な点検や詳細調査を行う技術者などの協力が必要であり、それぞれとうまくコミュニケーションを図り、できるだけ無理のない調整（工程や点検方法など）を行うよう努力した。

*概要書記載上の留意事項

- ①業務の内容、技術的特徴等を簡潔に記載
- ②表彰に至る高評価の要因等を簡潔に記載
- ③業務遂行上、苦勞した点や工夫した点等を簡潔に記載

*発表資料作成上の留意事項

- ①パワーポイントにて25枚程度以内に簡潔にまとめる
- ②上記の概要書記載上の留意事項①～③に留意して作成